

第9回宮崎チャレンジマッチ 「テニス競技大会」

第9回チャレンジマッチ「テニス競技大会」は、宮崎日日新聞社・MRT 宮崎放送・UMK テレビ宮崎・県教育委員会・県体育協会の主催で、6月23日から2日間にわたり、シーガイアテニスアカデミーで開催しました。

この事業は、全国でもトップの競技力を誇る高校の強豪チームを招待し、本県の有望な高校生チームとの招待試合や県内小中学生を対象に交流イベント等を実施することにより、スポーツに対する関心を高め、同時に競技力の向上を目指そうとするものです。

男子の招待チームは、清風高校（大阪）です。1980年に全国高校総体、1982年に全国選抜で日本一になって以降、全国制覇7回。また、世界で活躍するプロテニスプレーヤーを多数輩出してきました全国屈指の強豪校です。

女子の招待チームは、仁愛女子高校（福井）です。今年3月の全国選抜では準優勝。全国高校総体で優勝2回、全国選抜でも優勝2回という輝かしい戦績で、日本代表選手を数多く輩出しています。

6月23日（土）は、雨天のために室内コート4面で実施しました。午前中は交流試合男女2面ずつを行い、午後からは開会式の後にテニス教室を行いました。県内の小中高生を対象にした教室には、男子77人、女子66人、合計143人が参加しました。観客数は316人でした。

男子は、清風高校の練習メニューを再現する形で実施しました。高い打点から打ち込む攻撃的なショットの指導、アプローチからボレーに展開する形式練習等もあり、同校の富岡宏之監督は「ボレーに向かうまでの動きが大切。適切なポジションはサービスラインの1・2歩前まで。詰め過ぎたら駄目。」などとアドバイスをして下さいました。女子も仁愛女子高校の基本メニューに習い、ラリーなどを実践。富田典江監督は「一球一球を大切に。試合をイメージして取り組んで。」と指導して下さいました。

6月24日（日）は快晴のため、屋外のセンターコートと周辺のコート7面を使い、実施しました。開始セレモニーの後に、団体戦を行いました。シングルス1、シングルス2、ダブルスの計3ポイントです。

女子は、シングルス1に坂本選手（宮崎日大）、シングルス2に荒武選手（宮崎商業）と出場しましたが、お互いに3-6で負けました。ダブルスは渡辺・済陽選手（宮崎商業）が会場し、4-6。計0-3で負けました。緩急を付けた戦術とボールの精度が仁愛女子の方が上だと感じましたし、観ていて勉強になりました。

男子は、シングルス1に末吉選手（宮崎日大）、シングルス2に高妻選手（日向学院）、ダブルスに有田・本田選手（佐土原）が出場しました。初めにシングルス2高妻選手が2－6で負けました。スピードと球持ちで圧倒されました。シングルス1末吉選手はシーソーゲームの中で、後半に相手のフォアハンドストローク、ファーストサーブの精度が落ちてきたところにつけ込み、前日とは逆に6－4で勝利しました。前後の揺さぶりを考えたドロップショット、リードをした時にプレッシャーかけるためのネットプレーが有効でした。何よりレシーブが上手くいった試合でした。1－1でかかったダブルスは、有田・本田選手が4－1、5－3とリードしていたのですが、勝利を目前に守りに入ってまったことと、相手が底力を発揮し、目の離せない内容でした。5－6、6－6と大接戦し、相手に何度となくマッチポイントを握られながら、タイブレーク7ポイント先取までもつれました。地元の応援も味方につけて、7－6（8－6）で勝利を収めました。サービスの安定と、後半に前半同様、積極的にステップインしてストロークを打っていったこと、ネットプレー特にポーチに行ったことが勝因だったと感じました。

今回のチャレンジマッチは招待チームの都合で、県の中学生会と日程が重なった関係もあり、観客数は589人でした。県テニス協会としては、センターコートを満席にしたかったのが本音ですが、出場した選手とサポートしてくれた生徒は、全国レベルを肌で感じる事ができ、良い勉強になったと思います。来年度の南部九州インターハイ、8年度の宮崎国体に向けた選手強化、また、未来の国体選手の育成に大きく影響を与えた2日間であったと強く感じます。

このような機会を与えて頂いた報道各社、県教育委員会、県体育協会、協賛各社等、関係各位に心から感謝申し上げます。

1日目 テニス教室



県テニス協会会長あいさつ



県テニス協会より記念品贈呈



テニス教室

2日目 チャレンジマッチ



佐藤県体育協会長あいさつ



協賛品贈呈



記念写真撮影



競技の様子①女子試合



競技の様子②男子試合



競技の様子③男子試合



チャレンジカップ贈呈



メダル贈呈



招待監督インタビュー

大会結果

男子の部	優勝	宮崎県選抜	第2位	清風高等学校 (大阪府)
女子の部	優勝	仁愛女子高等学校 (福井県)	第2位	宮崎県選抜